haze

Glitch Cloud

revB

Web Manual

Introducing Haze

Hazeはループするテープマシン、グリッチしたデジタルバッファー、そして"サンプル・ジャグリング"といった要素を融合し、独自の美しいサウンドへと昇華したデバイス。既存のグラニュラー/テクスチャーペダルには無い時間の流動性、つまりは非同期性やドリフト感を加えたペダルです。

デザインに関しては複雑ながら理解しやすいものを採用しています。
かつてのモジュラー・アナログシンセサイザーのように、すべてのパラメーターがペダルの表面に配置されています。

Hazeを理解するにはこのペダルを生成的なコンポーザー、つまり不安定で絶えず変化する音楽的な形をメソスケールの時間軸——数秒から10秒ほどの、人間が知覚し続けられるフレーズの長さや時間幅——の中で生み出す楽器として捉えるとよいかもしれません。

また**Haze**は細かなグラニュラーやビートスライシング的なエフェクトにもなります。シンセサイザーやアコースティック楽器、トラックのステム、あるいは楽曲全体にエフェクトをかけるのにもピッタリです。個人的にお気に入りのソースはノイズフロアのはっきりと聞こえる、静かな部屋で録音したアコースティック楽器の録音です。**Haze**は素材のテクスチャーを美しく強調し、増幅してくれるのです。

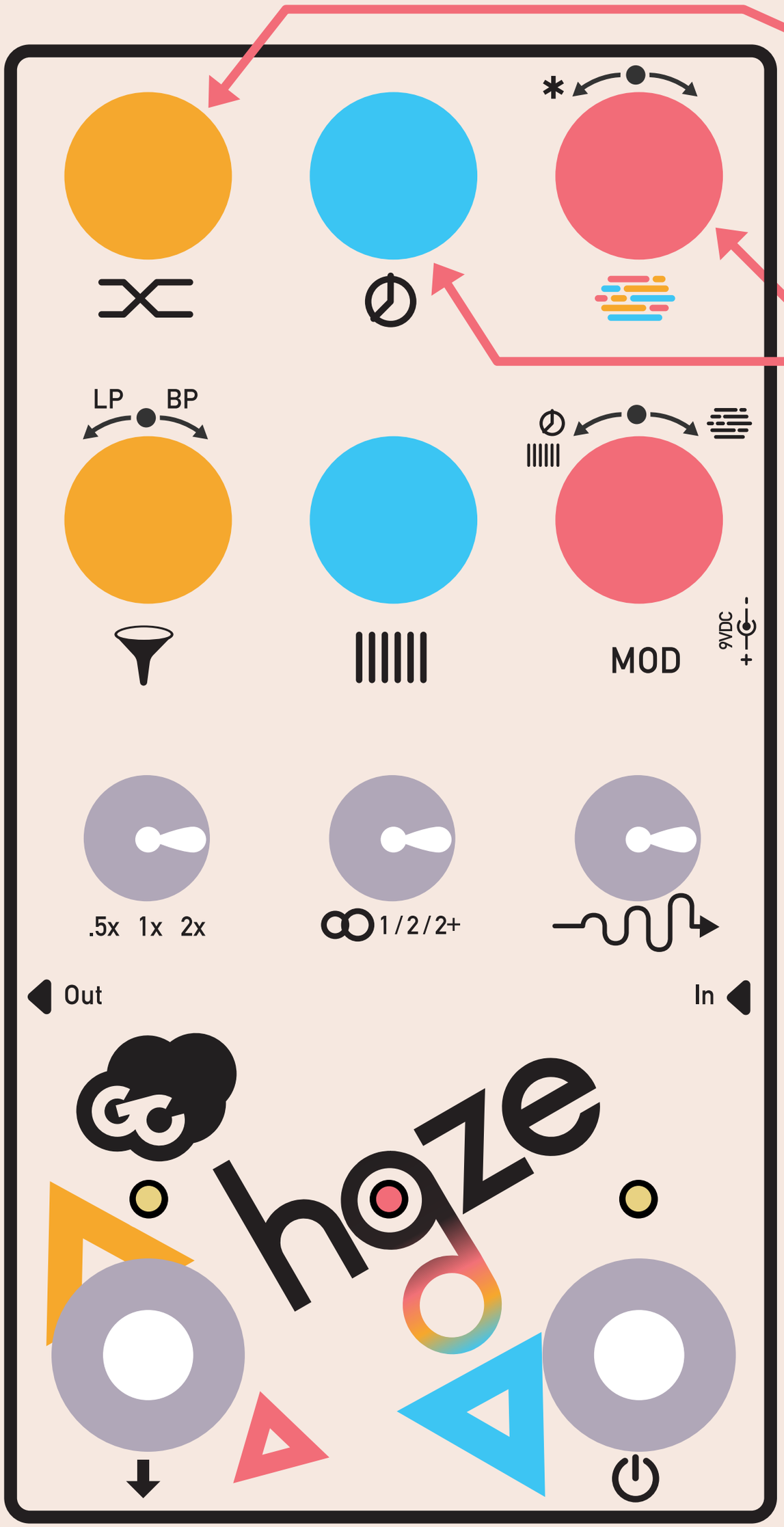
私は何度も、**Haze**の最も特徴的な要素――Hazeのメカニズムが生み出す微かなクリックやポップノイズ、さりげないボリュームドロップ――を庭師のように綺麗に整えてしまいたいという誘惑に襲われました。

市販の「グリッチ」系機材ではよく、このノイズ達が生み出す豊かな環境を記号化された音のセットへと単純化してしまいます。しかしそれはデジタル機材黎明期における「不完全の美しさ」のカリカチュアであって、その美しさに真摯に向き合っているとは言えません。

そこで私はHaze本来の粗さを全て取り戻す「OG」モードを備え、粗いサウンドもクリーンなサウンドも選べるようにしました。いずれのモードでもHazeはデジタルディレイ、ルーパー、マルチエフェクトの中間のような存在でありながら、そのどれか一つに完全に当てはまることはありません。

Hazeは私の友人であるNeuro... No Neuroに捧げます。彼はペダル本体と、このマニュアルのビジュアルデザインを手掛けてくれました。これはGlitch Cloudにとって初のリリースであり、同時に初めてのアーティストとのコラボレーションでもあります。このペダルをぜひ楽しんでください！

Glitch Cloud Audio
Tempe, AZ



Mix

シンプルでリニアなクロスフェードで、原音とエフェクト音の音量バランスを調整します。

Time

最大10秒のレンジを持つ2つのループの長さを設定します。12時では両方とも5秒になります。左右どちらかに回すと一方のループは長く、もう一方は短くなります。

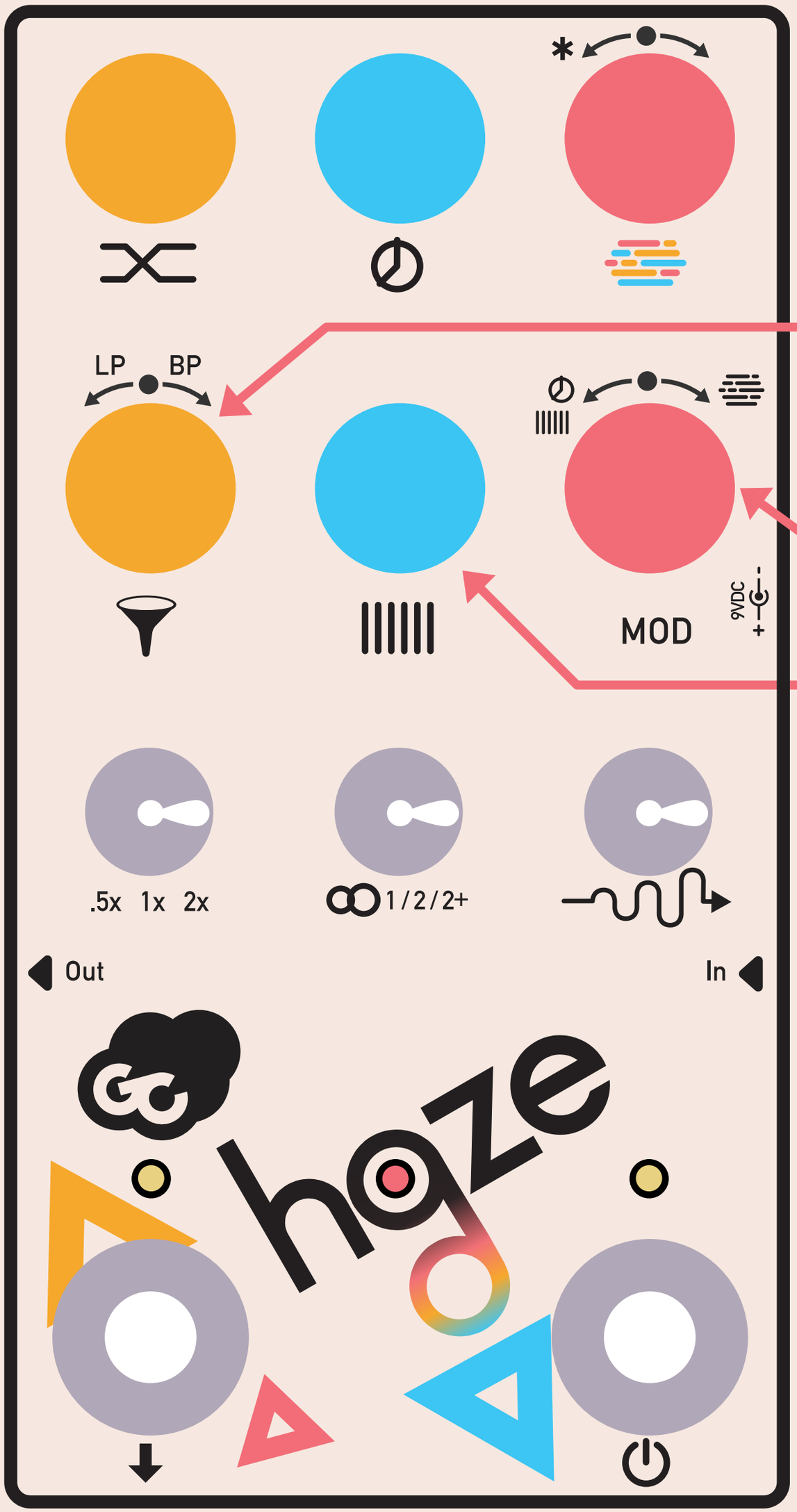
ヒント: EchoをONにし、Timeでループを縮めてみましょう。HAZEがどんなエフェクトかを確かめるのに便利です。

Haze (Knob)

ペダルの名前にちなんだコントロール。12時でニュートラルな状態になり、左右に回すことでLo-Fiエフェクトの深さを設定します。このエフェクトは録音ヘッドがループの頭に戻る度に、一定の確率で設定が変わります。

メモ: **Haze**を反時計回りに回すとランダムなバッファージャンプが起き、再生される音が前後するほか、無音が発生することもあります。

ヒント: OGをONにして、Hazeノブが生み出すノイズの変化を確認してみましょう。



Filter

Lo-Fiのざらつきを抑えられる、WETシグナルにかかるレゾナントフィルター。左回しでローパス、右回しでバンドパス。

ヒント: よりドラマチックにフィルターを動かしたい場合は**OG**を有効にしてみましょう。

Repeat

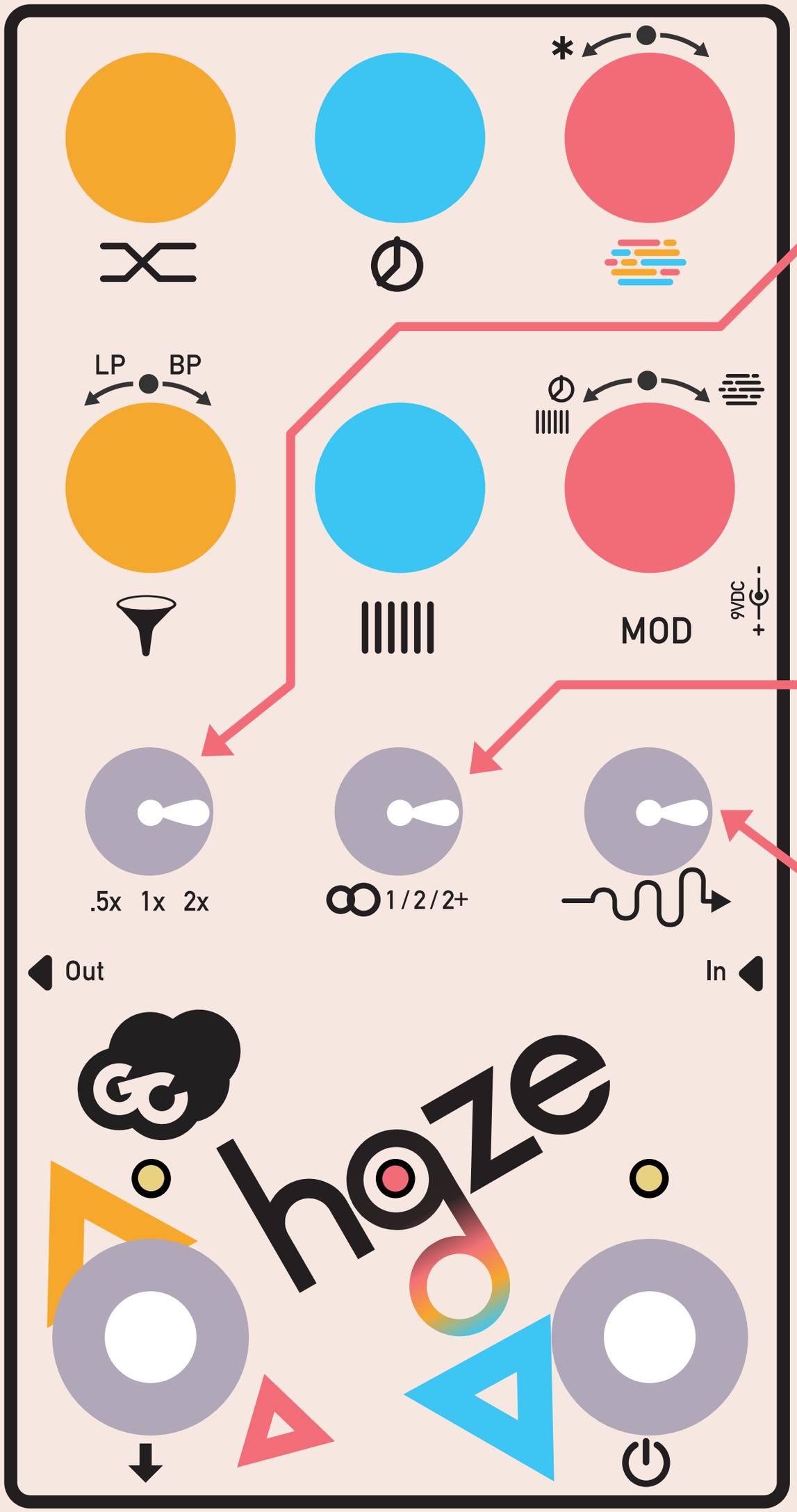
アクティブなループを縮め、一部を繰り返し再生させるコントロールです。

ノート: Hazeノブの設定によっては短い逆再生のスタッターが現れます。また**Time**を低く、**Repeat**を高く設定した場合はループ再生が極めて細かくなります。この時音量が下がる、もしくは音程を伴うことがあります。

Mod

特定のパラメーターをスムース・ランダム波形でモジュレーションします。12時でモジュレーション無し、左右に回すことでモジュレーションを深くすることができます。

左回し: **Time**と**Repeat**
右回し: **Haze**



Pitch/Speed

再生速度を変更します。

1x以外の設定では再生/録音ヘッドの
速度がズレることで、予測不可能な
サウンドを生み出します。

メモ: 1xに戻しても再生ヘッドの位置は
戻らないため、再生のズレは残り続けます。

Loop Selector

使用するチャンネル（ルーパー+エフェクト）
の数を1つと2つから選択します。2+では
二つ目のチャンネルを倍速再生にします。

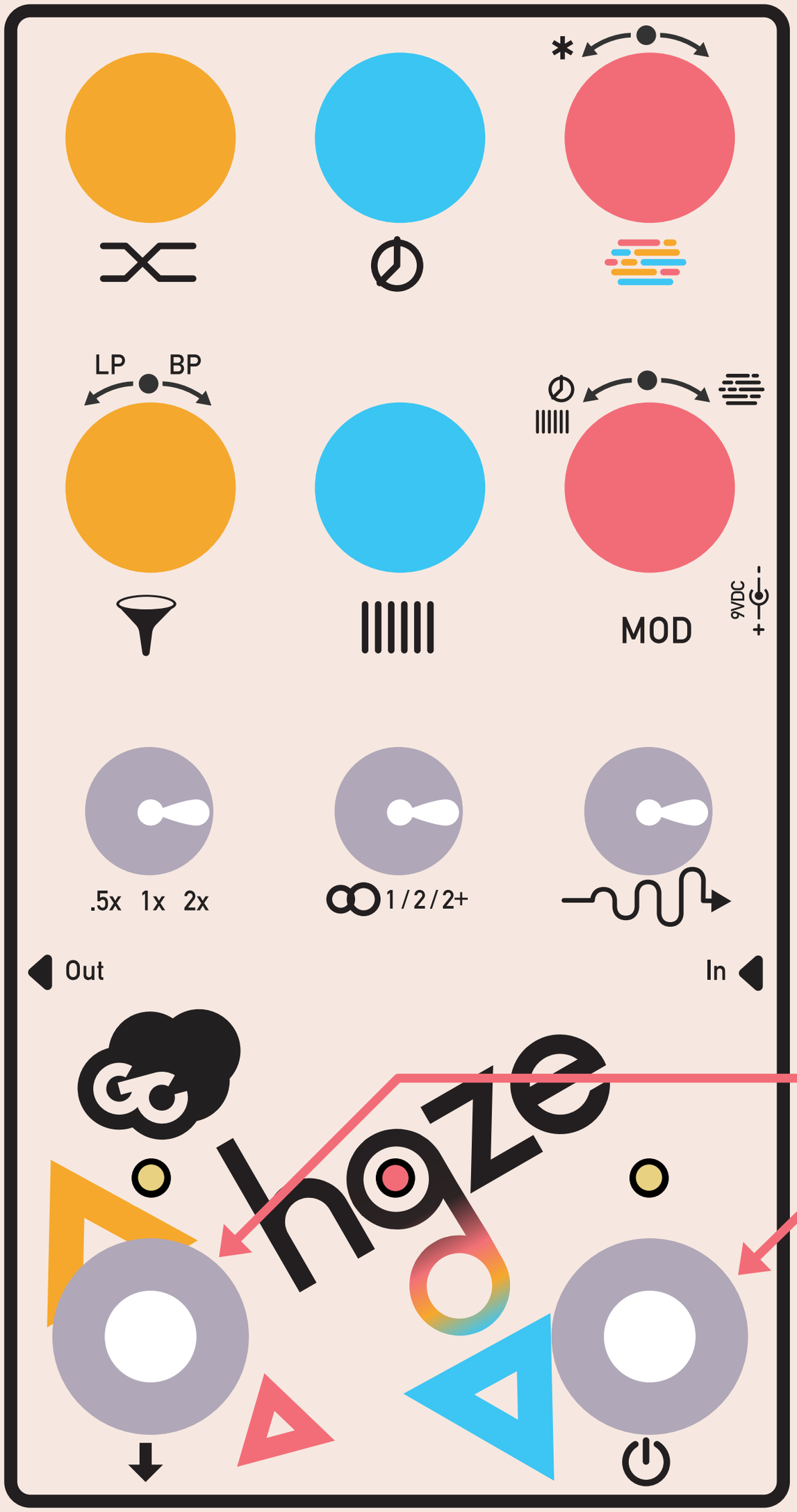
Mono: チャンネルは合算されます。
Stereo: 2つのチャンネルはそれぞれ
左右の出力へ出力されます。

ヒント: Yケーブルを使用することで出力を
個別にインターフェイスに出力する、または
異なるエフェクトへ送ることができます。

Warble

テープのような揺れを加えます。
左からオフ、弱、強から選択できます。

メモ: Warbleは全体に統一感を出すために、
信号をミックスした後に適用されます。



Transpose

再生速度を0.75倍にします。ワンコードのループに対して動きを付けることができます。

ヒント: **Transepose**を3秒長押しするとマニュアルシャッフルモードに入ります。Lo-Fiエフェクトをフットスイッチで更新できます。

Output Bypass

ペダルをバイパスします。録音時間を確保するために、**HAZE**はデフォルトではバイパスしている状態で起動します。

メモ: **HAZE**はバイパス時でも常に入力を録音し続けます。

ヒント: **Bypass**を3秒ほど長押しするとバッファーが消去されます。

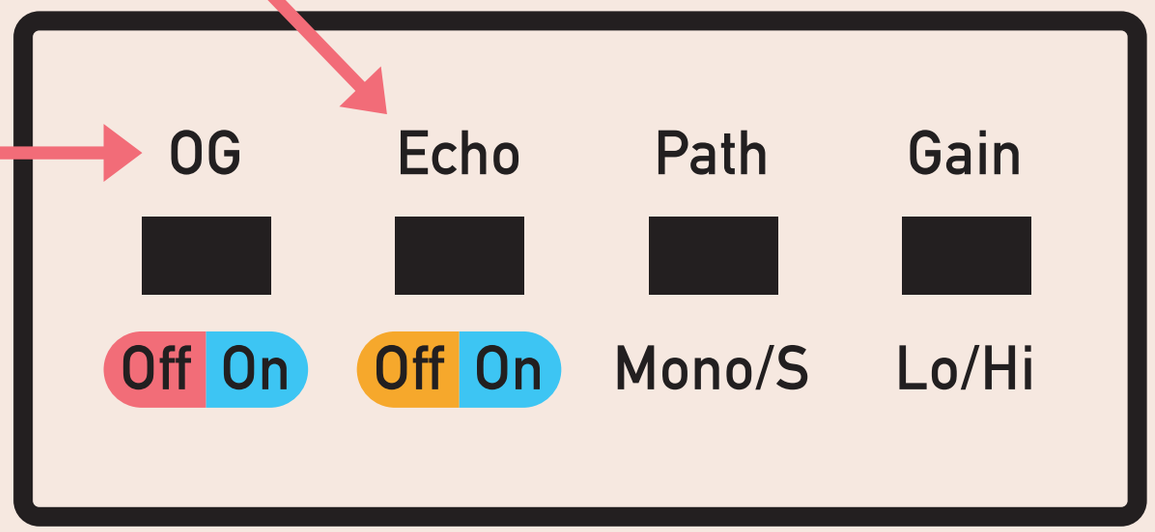
Lock (Dual Press)

両方のフットスイッチを同時押しで録音ヘッドを止め、バッファーをロックすることができます。この機能がONになるとピンク色のLEDが消灯します。もう一度同時押しすると録音が再開されます。

メモ: **Lockモード**中でも全てのコントロールが操作可能です。

Echo

新しい録音の書き込み方を
選択します。Offの場合、入力音が
録音済みの音を完全に上書きします。
Onの場合は入力と録音済みの音が
50/50でバッファーへと書き込まれます。



OG

OGは挙動を滑らかにするための抑制を切るような機能です。オンにすると**HAZE**はより自由奔放になります。

効果：

- 音の継ぎ目を粗くすることで生み出される、より明確にグリッチーな質感
（**Filter**でこの質感を調整できます。）
- テープスピードを変更した際のポルタメント。
- **Haze**ノブを回し切った際のより強いテープノイズ（OGがオフの際はエンベロープに追従する緩やかなノイズを使用しています。）
- より効きの強い**Time**コントロール
- シャープな**Filter**のQ
- **Repeat**を12時以降にした際の、より輪郭のはっきりとしたサウンド
- 入力が無い場合でもランダムに漏れ出る歪みやLo-Fiアーティファクト

メモ: **OG**は録音中の挙動も変化させる為、途中で**OG**をOffにした場合もバッファー内には**OG**フレーバーな成分が一部残ります。完全にリセットをする場合は、バッファーを消去してください。

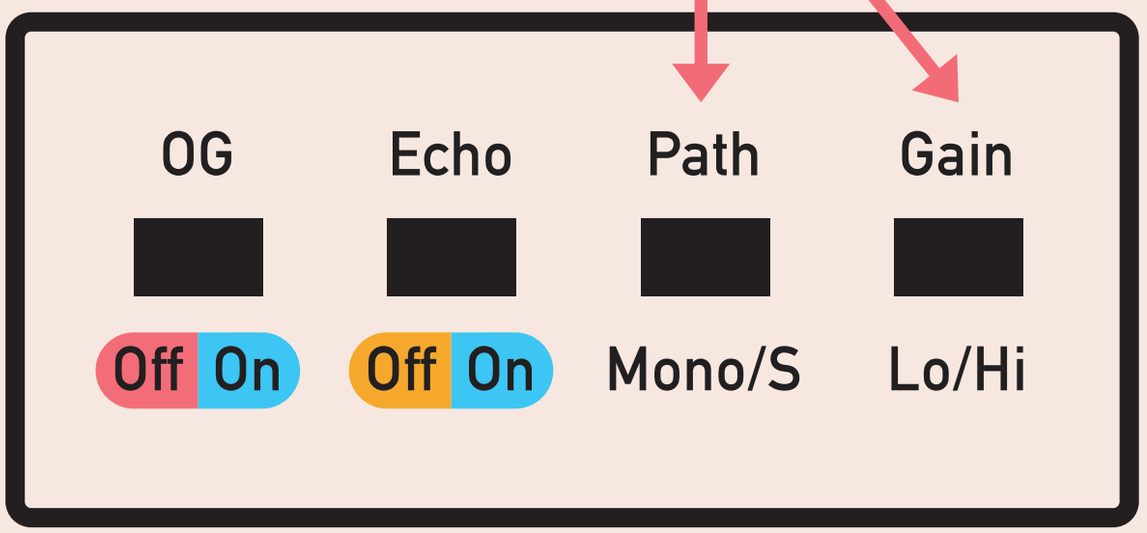
Gain

Lo設定はラインレベルのソース用にデザインされています。**HAZE**はピークトゥピークで2V(おおよそ民生用機器のラインレベル)の時にベストな動作となり、ノンリニアなステップが生み出す穏やかなテープサチュレーションを得ることができます。

業務用機器のラインレベル信号やより大音量の信号をHAZEに入力すると、より強いサチュレーションやクリップが発生します。その場合は**HAZE**より前段で音量を少し抑えてみて下さい。

Hi設定はパッシブのピックアップやアコースティック楽器など小音量の音源へブーストを加えます。ラインレベルより小音量の音源を、**HAZE**が理想的に扱えるレンジまでゲインを引き上げます。

録音/再生ヘッドは動き続けるため、新しいGain設定が反映されるまで時間がかかることに注意してください。



Path

出力のモノ/ステレオを切り替えます。ステレオではTRSケーブルを使用します。

Hazeには二つの録音チャンネルがあります。**Mono**モードでは両方のチャンネルが同じ入力をキャプチャーします。**Stereo**モードではそれぞれL/Rの信号を録音します。

モノ出力 - 二つのチャンネルの出力は1つのシグナルへと合算されます。
ステレオ出力 - 二つのチャンネルは左右それぞれの出力へとルーティングされます。

*__Loop Selector__が1のとき、エフェクトは両方のチャンネルで同じようにかかります。2や2+ではエフェクトが別々にかかります。

Behavior Notes & Creative Considerations

・**Haze**のバッファー内に録音が長い時間残ることがあります。特に**Time/Repeat MOD**が有効な場合は録音時、バッファー内の領域ごとに上書きされたり、されなかったりします。同様に**Haze**ノブを反時計回りに回すと、プレイヘッドがバッファー内の古い素材が残る領域へジャンプすることがあります。これは意図された挙動です。**Haze**を使ったセッションとは新しい音と過去の音の予期せぬ出会い、つまり常に予見できない動きで織り合わされていく、生成的な作曲なのです。

Hazeは特に**OG**モードで細かなアーティファクトやクリックノイズが生じます。**Filter**でこの成分を調整し、ローファイな質感の一部として馴染ませることができます。

ビットリダクション系のエフェクトはレベルの低い信号に対してより強くかかります。かかりが強すぎると感じる場合は入力レベルを少し上げてみてください。

Hazeのシグナルパスには**Filter**の直前にサチュレーション段があります。ここでアナログ機器やテープを思わせるウォームな質感をわずかに加えています。サチュレーション量をできるだけ一定にする場合は、**Haze**の前でダイナミックレンジを抑えておくとよいでしょう（軽くコンプレッションをかけるなど）。

Loop Selectorを1にして**Time**を下げきり**Repeat**を上げきると、サンプルが非常に短くなり、グレインのエンベロープによって結果的に音量が下がって聞こえる場合があります。**OG**では**Repeat**をさらに高い値まで設定できるため、この現象がより顕著になります。

Monoモードと**Stereo**モードの切り替えはリアルタイムで行えますが、録音の仕組みが変化するため大きなノイズが発生する場合があります。切り替え前後にバッファーをクリアするか、電源を入れ直すことをおすすめします。

Regulatory Information

FCC (United States)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause harmful interference; and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, the user is encouraged to try the following:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a different circuit.
- Consult a technician for help.

EU (CE) and UK (UKCA)

This device is intended for use with audio-frequency equipment and complies with the essential requirements and applicable standards for electromagnetic compatibility and safety for CE and UKCA marking.

Important Information:

- Use only with the supplied or approved power sources.
- Do not dispose of this product as unsorted municipal waste; use separate collection facilities (WEEE).
- Full Declarations of Conformity and regulatory documentation are provided separately and available via the manufacturer or responsible person.

Safety:

- Do not open or modify the device. No user-serviceable parts inside.
- Use only in dry environments.
- Use only the recommended 9V DC power supply (center negative). Do not exceed the rated voltage.
- Disconnect power before cleaning or when not in use.

UK Responsible Person: Audiobulb Records, 10 Clifford Road, Sheffield S11 9AQ, UK.
EU Responsible Person: Gert De Meester, Wezelstraat 16, 2800 Mechelen, Belgium
Manufacturer: Glitch Cloud Audio, 1111 W University Dr Unit 2022, Tempe, AZ 85281 USA

Technical Specifications

- 入力：TSモノとTRSステレオから選択可能
- 出力：TSモノとTRSステレオから選択可能
- DSP: 480MHz ARM (ES Daisy Seed)
- Processing: 32ビット浮動小数点
- 24ビット ADC/DAC
- レイテンシー: 1 msec
- 電源: 2.1mmセンターマイナス9VDCジャック
- 消費電流: 300 mA
- 入力インピーダンス: 1 MΩ
- 出力インピーダンス: 100 Ω
- バイパス: トゥルーバイパス
- サイズ: 123mm x 68mm x 61mm

Glitch Cloud

© 2025 Glitch Cloud Audio LLC. All rights reserved.